

「教育環境を考える保護者懇談会」の実施について

1 目 的

少人数学級や複式学級の現状と課題を把握した中で、子どもたちが多様な考え方にふれ合う機会や集団としての活動の意義などの視点により、望ましい教育環境のあり方について保護者と議論を深めていくことを目的として開催するもの

2 対象校

- ・令和2年度以降、継続的に複式学級の編制が見込まれる小学校
- ・近隣校との往来が比較的容易な平場の小学校

- ・令和2年度実施（5校）：桂小、石坂小、下塩小、上塩小、東谷小
- ・令和3年度予定（4校）：深沢小、宮本小、大積小、日吉小

3 対象者

- ・小学校在籍児童（1～6年生）の保護者
- ・小学校区に居住する未就学児（3歳児～5歳児）の保護者

4 懇談会の実施状況

(1) 開催状況（令和2年度）

開催日	学校名	保護者 参加者数
R2. 10. 17	石坂小学校①	23 人
R2. 12. 5	桂小学校	12 人
R3. 1. 23	石坂小学校②	9 人
R3. 2. 20	東谷小学校	13 人
R3. 2. 27	上塩小学校	11 人
R3. 2. 27	下塩小学校	13 人

(2) 教育委員会からの情報提供

- ・各小学校の児童数・学級数の推移等（過去20年及び令和8年度までの推計）
- ・小規模校における教育環境について（メリット及び課題）

(3) 参加者の主な意見

- ・子どもに先生や保護者の目が行き届いていて、安心感がある。
- ・子どもたちはみんな仲が良い（⇔人間関係の固定化）
- ・人数が少ないと、集団での学習（スポーツ、合唱等）や行事等に制約がかかる。
- ・他者と競い合う機会が少ないので、競争力が育ちにくい。
- ・小規模校から大規模校に入るとき（中学校入学等）、学校生活や人間関係でギャップを感じないか心配。事前に他校の児童との交流できる機会を設けてほしい。
- ・複式学級を導入する際、初めは不安に感じていたが、学校の先生方が丁寧に対応してくれ、子どもたちも個性を発揮している。
- ・上の学年が下の学年の面倒をよく見てくれており、学年を超えた交流も広がった。
- ・学校統合の話題は、保護者全体の意見をまとめてからでないと、保護者からは地域に話を出していきにくい。
- ・他地域の懇談会での意見や、統合するまでの手順や事例について情報提供してほしい。